

## 会 議 録

### 1 会議名

令和8年度 第1回和田区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

自主的な審議（公開）

（1）今後の活動について

### 3 開催日時

令和8年4月15日（水） 午後6時30分から午後7時43分まで

### 4 開催場所

ラーバンセンター 第1研修室

### 5 傍聴人の数

1人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山会長、横田副会長  
阿部委員、泉委員、近藤（浩）委員、近藤（美）委員、齊藤委員、  
角谷委員、西片委員、西田委員、渡邊委員（欠席3人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 稲田所長、小池副所長、荒川係長

### 8 発言の内容

#### 【小池副所長】

- ・ 高橋委員、牧田委員、山岸委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

#### 【秋山会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：近藤（浩）委員に依頼

## ― 次第2 自主的な審議（1）今後の活動について―

### 【秋山会長】

次第2 自主的な審議（1）今後の活動についてに入る。

前回の会議において、任期の半分が経過するというので、これまでの2年間で振り返っての感想や反省、また、後半の任期に向けた課題や提案について、3つのグループに分かれて意見交換を行った。主な意見を2年間の振り返りとともに資料No.1にまとめた。

「地域協議会は何をしてるのか分からない」という意見があったため、地域協議会とはというところを改めて考えながら、また参考資料として、上越市創造行政研究所が作成した資料も配布した。和田区の人口データなども見ながら、今後の活動について話し合いたいと思う。

事務局から資料の説明を求める。

### 【小池副所長】

- ・資料No.1及び参考資料により説明

### 【近藤（浩）委員】

今ほどの説明の件だが、外国人が61人とある。これは住民基本台帳に登録されている人数だと思うが、私の肌感覚では大和3丁目だけでも、おそらく20人くらいおり、和田区全体ではおそらく200～300人、もっといるのではないかと思う。今後、町内で回覧板を回しても日本語が読めない方がいたり、ゴミの問題などが出てくると思う。61人をベースに政策を考えると、実態と大きくずれてしまう危険がある。私は何百人と言ったのは、具体的なデータがあるわけではなく、おおまかな数だが、実態をもう少し調べたほうがいいと思う。

### 【秋山会長】

私の住んでいるところも、自転車で通勤している外国人の方がいるが、この数字を見て意外と少ないと感じた。事務局から外国人の人数データについて、創造行政研究所に伝えてほしい。

説明いただいた資料の中で、これはどうかという点をお聞きしたい。

**【渡邊委員】**

和田地区の戦没者遺族会が解散している。

**【近藤（浩）委員】**

市内では、各地区の遺族会が解散している傾向にある。

**【渡邊委員】**

まだ残っているところは若干あると思う。

**【近藤（浩）委員】**

私も毎年行っているが、確か去年か一昨年くらいで解散するというので、今は有志でやっていると思う。

**【秋山会長】**

和田地区の戦没者遺族会は解散しているということか。

皆さんからアイデアを出していただいたときに、防災士会和田支部を立ち上げたいという意見が最初の頃に出た。その後動きがあったが、現状について、私たちはあまり情報を持っていない。地元関係図にも防災士会和田支部が入っているが、西田委員から今の様子をお話しいただきたい。

**【西田委員】**

昨年、上越市防災士会から和田支部が立ち上がり、現在会員は20名ほどである。昨年は研修を2回行い、1回目は各町内会長をお呼びし、会則などの説明をした。2回目は社会福祉協議会から災害時の要支援者、災害の時に支援をしてほしいという方の話があった。また、市の防災士会の副会長から自治防災について講演をもらった。統計からすると、地震の発生時刻は日中、皆さんが仕事に行っている時間が一番多いそうで、日中に何かあったときに自治防災はどうなるのかという話があった。日中、地域にいるのが高齢者だろうということで、老々介護とよく言うが、老々支援ということが必要になってくるのではないかと提案された。

今年は救命救急士の方にお願ひし、AEDの研修をしようと思っている。

**【秋山会長】**

防災士会が立ち上がって、今20名くらい参加があり、学習会や色々な情報収集機会を設けているということがわかった。また何か動きがあったら、ご報告いただ

けるとありがたい。

そのほか、手を挙げて発言いただきたい。

**【西田委員】**

創造行政研究所がワークショップをやっているが、去年は板倉地区で今年は谷浜桑取地区となっている。これを選定するのは市か、それとも地域の住民が手を挙げているのか。

**【小池副所長】**

市の方から声掛けをしていると思う。

**【西田委員】**

そういうところは住民が少ないところなのか。

**【小池副所長】**

きっかけは聞いていないので確認する。

**【稲田所長】**

データの中に「特に少子高齢化が顕著な谷浜桑取地区において、地区まちワークショップを実施」と書いてあるため、創造行政研究所としても、この辺に着目しているのではないかと思う。

**【秋山会長】**

13区は人数が減っていながらも、地域協議会と住民とが実動する振興会が両輪で色々動いている。昔は自治があったかもしれないが、合併前上越市の15区が、突然地域自治区と言われても、上越市にずっと馴染んできた中で、和田区で課題を自主的に考えることがなかなか馴染まない。本当は創造行政研究所から、15区を今後どうするかを少し取り上げてほしいという思いがある。事前の事務局との打ち合わせの中でも、上越市がどう考えているのか、創造行政研究所がどうしていくのか、色々やり取りをした。和田区は人口が少しずつ増え、高齢化率は下がっていく。しかし、地域の関係団体は、一番の中心になるべき和田地区振興協議会は休会中、和田地区商工振興会も休会中であり、他の13区において中心になるところが和田区にはない。

**【渡邊委員】**

事前に資料をいただき、ホームページで各区の今後の人口予測を見た。人口が減っていない地域は、和田区と春日区だけであった。他はみな、右肩下がりである。上越市全体で見ても、右肩下がりであるのに、和田区が横ばい、あるいはやや上向きする予測になっている理由を聞きたい。大和地区が増えているのではと思うが、実際の肌感覚としてどうなのか、皆さんの意見を伺いたい。

**【近藤（浩）委員】**

おそらく、同じ大和地区でも地域によってずいぶん差があると思う。私が住んでいる大和3丁目は、2年間で多くの人々が亡くなった。このペースでいくと、おそらく30～40年の間に人口が0人になるのではないかと。しかし、1丁目や2丁目、4丁目、新幹線の沿線は、子どもが多く、非常に伸びていると思う。

交通安全週間の立哨で、7時半から8時までの間、荒町のT字路の交差点を通る小・中学生はごく少数だった。私はそれを承知していたが、そこに立哨に来た2丁目の方は、ここまで少ないことにびっくりしていた。十何年前にも立哨したことがあるそうだが、こんなにも減ったのかと愕然としていた。

地域によってずいぶん違うということをお伝えした。

**【秋山会長】**

大和4丁目の近藤委員の地域はどうか。

**【近藤（美）委員】**

4丁目は新しい団地がどんどん増えているため、他の地区に比べて、人口が増えているのは間違いないと思う。

**【秋山会長】**

大和5丁目、6丁目はどうか。

**【阿部委員】**

5丁目は新幹線ができてから、次々と家が建った。私の家の周辺を見ても、妙高市などその周辺から入ってくる方がいる。

町内会館を建てるのに、10年計画で借入金の予算を立てたが、マンションやアパートがどんどんでき、10年待たずに返済ができた。町内会にも入ってくださり、10年はかかると思っていたが、半分くらいで済んだ。出て行く方はあまりおらず、

入ってくるだけである。5丁目でも、私の住んでいるところは上越妙高駅のすぐ近くのため、まだ空いている土地にぽつぽつと外部から入ってきて、新築する人がいる。クリーン作戦の時に自己紹介をしていただいたが、変わってきていると感じている。

**【秋山会長】**

角谷委員は上越に移り住んだ方だがどうか。

**【角谷委員】**

前回の地域協議会でグループ4人で話をしたときに、私は、和田地区と大和地区の違いについて、ここ2年ほど、あまり目を向けてこなかったということを行った。和田小学校区と大和小学校区とは全然違っており、和田小学校区には子どもがいないが、私の町内は子どもが非常に増えている。

先ほど言いそびれたが、市内には13区と15区があり、年に1度だと15年に1回くらいしか創造行政研究所の講演会が回ってこないことになる。講演会はとても魅力的に見え、お金もかかっているため、15年に1回では少ない。できれば、年に2～3地区で回して、お金を出してでもやってほしい。そうでないと、和田地区には永遠に順番が来ないのではないかという気もする。同じ税金を払っているのに、来ないのはおかしいと感じる。

課題は一つ。和田小学校区と大和小学校区の違いが、段々と浮き彫りになってきており、学校がどこになるかというときに、必ず本音が出てくるのではと感じている。

**【秋山会長】**

角谷委員のように色々お話をいただく中で気づきもある。齊藤委員は農業関係など、どのような印象を持っているか。

**【齊藤委員】**

今年の町内の総会のときに、公民館は町内の皆さんのものだから自由に使ってもらってよいと話したら、ついこの間、麻雀クラブを作って、麻雀をするために公民館を貸してほしいという話があり、貸すことになった。テレビで老人ホームでも老化防止のために麻雀をやりと取り上げられているが、年寄りでもコミュニケーション

ョンだけは絶やさないようにしたいと思っている。

おそらく10月になると思うが、自主防災組織で誰が安否を確認するかを決めたいと思っている。幸い大きな災害は起きていないので、皆さんも忘れていると思う。3月に危機管理課の防災担当と話をして、必要であれば防災士を紹介すると言われている。そこも含めて相談しながら、お互いに集落の中で助け合っていこうと思っている。大々的にやらないが、冬もあるし、大地震が来たら終わってしまうかもしれない。そういう意識を持って行いたいと思っている。

また、集落を維持しなければいけないため、活性化していきたいと思っている。6月に草刈りや用水の整備を町内の皆さんで分担してすることになっているが、草刈りの仕事は少ないため、みんなでしなくてよいのではないかという意見もあったが、これは違ふと話をした。みんなで集まって実施する多面的機能支払いは、国の補助金を受けるものだが、これはただ作業するだけのものではない。集落の活性化につなげるための皆さんとのコミュニケーションを深めるための作業である。作業が多い少ないは関係なく、皆さんと色々話しながら、このような目的のために行うものだと伝えた。

**【秋山会長】**

西片委員はどうか。

**【西片委員】**

私も和田区だが、齊藤委員の話のなかで、町内会館を開放しているという話があったが、島田では、しまだこどもの家を週に一度、輪投げをすることで貸し出している。

住所は島田だが、下箱井にある会社は、これまで緊急の避難場所だったが、今年から避難所になった。今までは、しまだこどもの家に集まってから和田小学校へという形だったが、この会社へ避難すれば、そこへ支援物資が来るという形になった。そこはとても頑丈で、2階に上がれば見通しもよく、トイレもあるため、小学校よりも安全面ではよいのではないかと思う。

**【秋山会長】**

横田副会長の石沢はどうか。

### 【横田副会長】

石沢についてではないが、和田区の人口が増えているというのは、ここ10年くらい、大和で造成されている団地が引き続き同じペースで造成されるという前提があつての、人口増なのではという気がする。土地は限りがあるため、どこかで頭打ちになると思う。

他の小学校の話だが、黒田小学校は田舎の雰囲気があると思うが、私が小学生ぐらゐの頃の第一次ベビーブーム、40年以上前からほぼ児童数が変わっていない。増えてもいないし、減ってもいない。今は和田小学校より人数が多かったと思う。校区内では新しい団地ができてゐる。増えはしないが、子どもたちの人数が適度に推移していると聞き、すごく驚いた。和田小学校がこれだけ減っているため、黒田小学校も同様ではないかという話をしたときに、実は減っていないという話を聞いた。

大和と和田の違いは当然出てくるが、全体像を見て、和田が減って大和が増えてトータルでこうだというよりは、少し大きい目で見てもいいのではと思う。

石沢はどんどん減り、空き家が増えているが、ありがたいことに完全な空き家は少ない。

これからの人口推移予測を見ると、世帯数はもう少し増える気がする。ただし、二人暮らしや三人暮らしと世帯数あたりの人数は減り、大家族は減っているのではという肌感覚である。

### 【阿部委員】

黒田小学校があまり変わらないというのは、山麓線ができたことが大きいと思う。住宅はそれほど多くないかもしれないが、色々お店ができたことで周辺が大きく開けた。私が大和に移ったときは、脇野田駅の裏のほうの家は少なかったが、上越妙高駅ができたおかげであつという間に増えた。大きな施設ができると人口に影響する。

### 【秋山会長】

今はまだ全部まとめるつもりはないが、この表を見て、それぞれ意見をいただいた。和田区地域協議会の中の和田地域と大和地域はかなり違いがあり、それぞれの

集落も違う。おそらく町内ごとの細かな数字が出ると思う。町内別の推移などは表にしていないが、市でデータを持っているのではないかと思う。

先ほど角谷委員から、和田と大和の違いを2年間話し合っただけでなかったという話があったため、全体の違いも含めて、課題を知ることやってもよいのではないかと思った。今、大和4丁目は285世帯くらいになっており、おそらく宅地造成が広がっていくと、300を超えてくるのではと感じている。

本日意見の出た内容をもとに事務局と副会長、私で次回の議題を整理する。ほか、意見はあるか。

#### 【西片委員】

人口の問題として、子どもが大きくなっても地元に残るようにすることが、人口を維持するうえで大事だと思う。団地造成により、今はみんな核家族になっているため、親と一緒に住むケースがあまりない。だから、この点に力を入れてほしい。大和が難しいのであれば、川の奥、東の和田地区で団地造成の用意ができればと思う。小学校が廃校になる前に何とか手を打っていただきたい。集落に直接入ることはきまりが多く、空き家があっても無理だと思うが、高速道路や新幹線も近く、場所的に良いところであるため、市が宅地造成に力を入れていただければ、人口を横ばいで維持できるのではと思う。

#### 【阿部委員】

去年の話し合いの中で、地域がどのような方向に進んだらよいかということで、防災についての話があがったが、その時はまだ防災士会和田支部ができていないという話だった。防災意識も地区によって格差があり、私が今住んでいるところは家は増えているが、防災意識がとても低いと感じる。国でも防災庁を設置しようという話が出ているが、地震や水害はどの地域でいつ起きるかわからない。起きたときは、助けに来る人を待つのではなく、その地域でお互い助け合うことが多いと思う。

#### 【近藤（浩）委員】

皆さんの意見とは違うかもしれないが、防災は非常に大事な件だが、それは地域協議会での協議案件ではなく、町内会での協議案件でないかと思う。それぞれの町内会で抱えている問題が違うため、地協域議会の案件とはならないのではないか。

**【秋山会長】**

防災士は町内会単位で選出し、その方々20人くらいが支部のメンバーとなり、自分の町内に戻り活かすものである。

**【近藤（浩）委員】**

防災は自助、共助、公助の順でやらなければいけないが、本当にきりが無い。どこまで詰めたら、皆さんから納得していただけるのか。最終的には、自助になるのかもしれない。しかし、我々は警備会社でも何でもなく、防災は日曜日の昼に起こるわけではない。夜中の大雪の時に起こることもある。だから、できることとできないことを割り切ってやるしかないと考えている。

**【齊藤委員】**

私はもう半分割り切っている。災害の発生は平日もあれば土曜日、日曜日、祭日、夜中もあるうえ、雪が降っているときもあり、色々な可能性がある。その中で全部を完璧に網羅することはできない。最低限のことをみんなで助け合って協力してやりましょうということだと思う。

**【秋山会長】**

以上で、次第2 自主的な審議（1）今後の活動についてを終了する。

— 次第3 その他 —

**【秋山会長】**

次第3 その他、事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

**【小池副所長】**

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和8年度 第2回地域協議会：5月20日（水）18：30から

第3回地域協議会：6月17日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第1研修室

また、地域協議会だよりの本年度の編集委員だが、任期は1年間とし、名簿順

に3名、順番にさせていただいている。令和7年度は近藤美絵子委員、齊藤委員、角谷委員にお引き受けいただいた。令和8年度は高橋委員、西片委員、西田委員の3名の方をお願いしたい。

【秋山会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : [nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。